

平成26年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざす。

- 1 建学の精神「報恩感謝」を大切にし、教育理念「教育の目的は人をつくること」に基づく教育を実践することにより、人間的な成長・発展を実現し人格の完成をめざす。
- 2 生活・学習の両面において基礎・基本を徹底的に行い、社会的自立にむけ、そのため必要な基盤となる能力や態度を育成する。
- 3 一人ひとりが持つ可能性を開花させるため、主体的に生きようとする態度と能力を養う。
- 4 地域とのつながり強化し、安全で安心な学校をつくる。

2 中期的目標

【1】 建学の精神「報恩感謝」を土台に、独自性の高い教育を開発、実践する

(1) 選び抜いた内容を実践し、改良を加える

指導要領の内容と、独自に開発、改

良を加えた学習を組み合わせ実践する。

定期的に学習内容を公開し、教育関係者の意見をとりいれて教育内容を精選、改善する。

(2) 学校行事の見直し

子どもの成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべき行事を見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探求する。

子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を常に振り返るように指導する。

【2】 基礎学力と基本的生活習慣の育成

(1) 生活習慣をしつける方策と実行時期の熟慮と、集団の中で育む方法を探求

「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、規範を示すことにより、生涯にわたる自律の意識を育む指導を行う。

意識的に縦割り集団を組織したり、グループ活動を取り入れたりして「みんなでいっしょに」「高学年を敬う」「低学年を育む」を常に考えさせることで、自律の意識を育む。

(2) 基礎学力の徹底

ひとりひとりの興味関心を大切にし、学習に自信を持たせるように配慮し、意欲的態度や実行力の基礎を養う。

【3】 主体的な生き方の尊重

一人ひとりの興味関心を大切にし、だれにも自信を持たせる教育を行う。

道徳教育、人権教育を軸に、互いの個性を尊重しあえる土壌をつくる。

【4】 安心、安全な学校づくり

幼稚園や中学校とのつながりを密にし、相互の教育内容を充実させることにより、長期にわたる同じ方向性を持った指導を行う。

自他の命を尊び、安全な暮らしを希求する態度を育てるとともに、緊急時の対応を検討することにより、校内の安全性を高める。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析〔（平成25年度）平成25年11月実施分〕	学校協議会からの意見
<p>評価項目： 教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行った 評価方法： 各項目について、5段階評価を行った 5：大変そう思う 4：どちらかといえばそう思う 3：普通 2：あまり思わない 1：まったく思わない</p> <p>評価のための資料：児童（3～6年生）アンケート 保護者（全学年）アンケート 平成25年度小学校教育計画 平成25年度職員会議録</p> <p>○児童・保護者アンケート集計・平均（カッコ内は児童の平均）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校に入学させて(して)よかった…4.6(4.7) ・学校は学力向上に力を入れている…4.1(4.5) ・指導方法は工夫され、分かりやすい…4.2(4.1) ・主体性、自主性を育む環境が整っている…4.4(4.3) ・まじめに授業を受けている…4.1(4.0) ・行事は楽しく充実している…4.7(4.6) ・学校のきまりはいいきまりだ…4.4(4.1) ・きまりの指導に力を入れている…4.0(4.3) ・きまりやマナーを守っている…3.8(4.1) ・児童会活動や係り活動をがんばっている…4.4(4.6) ・友だちとうまくいっている…4.2(4.4) ・ケンカいじめに対応する…4.1(4.1) ・制服、ランドセル、体操服が気に入っている…4.3(4.1) ・校内の習い事や同好会は充実している…4.3(4.2) ・校内の施設、設備は充実している…4.1(3.9) ・生活状況や学習成績の通知は行き届いている…4.0(4.4) <p>教職員の自己評価(平均)： 個性尊重・実行から学べ・明朗と自主の教育方針に基づいて、その具体化を図っている…4.3 十分な検討のもと、年間教育計画を立てている…4.1 教務主任を中心として、機能的に運営されている…4.2 全職員研究会・学年会議を、課題検討・情報交換の場として有効に機能させている…4.1 学校経営の財務状況に基づき、健全な運営を行っている…4.1 学校HPの公開掲示板や通信などで、教育活動の情報提供に努めている…4.3 緊急時のマニュアル整備や登下校チェックや防災訓練など、安全対策を十分とっている…4.2 教育活動がしやすく、子どもにとっても好ましい環境が整っている…3.5 職員の適切な勤務実態と健康管理につとめている…3.6 分かりやすい授業の実践に努めている…4.1 学習意欲向上に努めている…4.2 学力向上に努めている…4.3 社会的マナー・モラルの定着に努めている…4.1 思いやりのある態度育成に努めている…4.1 保護者との連携に努めている…4.1 人権意識向上に努めている…3.9 自然環境保全の意識向上に努めている…3.7 衛生的で健康な生活の知識技能の指導に努めている…3.8 防災や安全に関する指導に努めている…3.9 主体性を重視した指導に努めている…4.1 読書指導に努めている…4.2 挨拶など礼儀を重んじる態度の定着に努めている…4.1 時間を守るなど、規則を守る態度の定着に努めている…4.0 物を大切に作る心や、美化意識の向上に努めている…4.0 学習の遅れている児童への支援を行っている…4.1 問題を抱えた児童や保護者への相談活動に努めている…4.3 きめ細かな進路相談に努めている…3.9 活発に、教員間で教育生活指導について、意見交換している…4.2 計画的に、教職員対象の研修が行われている…4.2 個人の研究・研修を支援する制度が整備されている…3.7 外部の研修会などで得た情報を、校内で共有しやすくなっている…3.8</p> <p>自己評価の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者、児童のアンケートと著しくポイントがずれた項目はない。 ○ 学習に関する評価は、保護者、児童、教職員ともおおむね満足していることを示している。 ○ 自然環境保護学習、衛生と健康な生活に関する学習、防災や安全学習、人権意識向上についての学習の自己評価が低い。 ○ 教職員の個人研究や研鑽を支援する制度の充実が必要である。 ○ 教職員の、勤務実態を踏まえた健康管理の方法を再検討する必要がある。 ○ 校内の環境を整え、教育活動がしやすい状況を検討することが必要である。 	<p>経年的に指標の変化をみると、保護者、児童の満足度が向上している。教職員の指導方法や考え方は支持されていると考える。</p> <p>保護者、及び児童アンケートの項目と、それぞれの項目に対応する教職員の自己評価を比較すると、大きなずれはみられない。</p> <p>学習について、教職員の工夫と努力が、児童の理解につながっていると考えられる。定期的に行われる教職員の研修や、教職員相互の意見交換が活発に行われていることが、成果につながっていると考えられる。個別に出かける研修成果を、より効果的に他の教職員に伝えられるような方法を模索することで、さらなる改善が期待できるのではないかと。</p> <p>今後は、自然環境保護についての学習、衛生と健康な生活に関する学習、防災や安全に関する学習、人権意識向上についての学習をより充実させる必要がある。</p> <p>きまり、マナーといったしつけについての項目は、保護者のポイントが若干低い。これは、まず児童の態度やマナーがある一定のレベルに達した後で保護者がそれを認識する、という順序になると考えている。前述したようにマナーについての評価も年を追うごとに上昇しているので、継続的な教職員の努力と工夫を期待している。</p> <p>学習環境についての評価が教職員、保護者、児童のいずれもポイントが低い。これは、年度初めより続いている工事（新校舎建築）に伴い運動場が狭くなっているためである。安全を考慮して、休み時間等の運動場使用に制限を余儀なくされている。工事は平成27年初旬に終了する予定であるため、その後は評価が再び上がると考えられる。気になるのは、教室美化についての児童のアンケート結果がかなり低いことである。これについては、分析結果にあるとおり個々の教職員のいっそうの努力が必要であると考えられる。</p> <p>個人的な教員の研究、研修を支援する制度を、再検討する必要がある。同時に、教職員の勤務実態の把握方法を再考し、教職員の健康管理をはかる必要がある。</p> <p>総合的に判断して、教職員の自己評価はおおむね評価通りであり、分析も実態に即したものであると考えられる。</p>

3. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 建学の精神を土台に、独自性の高い教育を開発、実践	1. 「指導要領プラス」をスローガンとしたカリキュラム・教材/教具を模索、実践しその効果を検証する 2. 全校行事や宿泊行事を見直す	① 次回開催の公開授業研究会（平成28年1月実施予定）を視野に入れ、校内研究授業を計画実践し、今後の研究深化に役立てる。 ② 指導力向上をめざし、指導要領にプラスした独自性のある学習プログラム開発、授業力錬磨をめあてとした教員研修の積極的参加を奨励する。 ① 保護者や児童の意見をもとに行事の内容を再検討し、改良を加える。 ② 外部団体等とつながりを持ち、新たな行事を検討する。	教員自己評価の次の4項目の評価を向上する ・ 計画的に、教職員対象の研修が行われている ・ 個人の研究・研修を支援する制度が整備されている ・ 外部の研修会などで得た情報を、校内で共有しやすくなっている ・ 活発に教員間で、教育や生活指導について、意見交換している 保護者、児童アンケートの次の評価を向上する ・ 行事は楽しく充実している	教職員の自己評価(平均)： 個性尊重・実行から学べ・明朗と自主の教育方針に基づいて、その具体化を図っている…4.3 十分な検討のもと、年間教育計画を立てている…3.9 教務主任を中心として、機能的に運営されている…4.0 全職員研究会・学年会議を、課題検討・情報交換の場として有効に機能させている…4.0 計画的に、教職員対象の研修が行われている…4.4 個人の研究・研修を支援する制度が整備されている…3.7 外部の研修会などで得た情報を、校内で共有しやすくなっている…3.7 活発に、教員間で教育生活指導について、意見交換している…4.2 学校経営の財務状況に基づき、健全な運営を行っている…4.1 学校HPの公開掲示板や通信などで、教育活動の情報提供に努めている…4.4 職員の適切な勤務実態と健康管理につとめている…3.6 の定着に努めている…4.2
2 基礎学力の徹底と指導力の向上 基本的な生活習慣の育成	1. 国語の観点のうち、「書く能力」の向上を図る 2. 規律遵守の意識レベルの向上を図る	① 「書き、まとめる」「書いて考える」「書いて交流する」授業プランを開発、改良し、複数の教員が授業化することによりプランの質的向上を図る。「書くこと」を意識した授業を全カリキュラムに導入し、児童の書いたノート、WS類を校内研究会で研究の対象とする。 ② 統一確認テスト等の学力テストで、基準とする値に達していない児童を抽出し、学級担任および学年補助教員が対象児童の学力向上に努める。次年度の学力テストでその成果を再調査し、指導方法が有効であったかを検証する。 ① 「自律の手助け」を念頭に置き、各家庭及び学級に配布する「しつけポスター」を指針として家庭と学校が協力し、指導を行う。 ② 特に校内美化、言葉づかい、時間遵守について、教員が範を示し児童が見倣うことのできる機会を増やす。 ③ 児童の自己評価と学級担任による評価を併用し、マナー向上を数値化し、児童のやる気を促す。 ④ 登下校のマナー向上のため、職員が交替で通学路に立ち、児童の直接指導に当たる。 ⑤ 食事マナー向上のため、職員が交代で食堂に行き、児童の直接指導に当たる。 ⑥ 通学マナーの改善が見られない児童、恒常的に遅刻する児童は家庭に連絡し、協力を要請する。 ⑦ 児童自身が校内のマナー向上策を考え、実行に移せるような縦割り活動や児童会活動を整備し、活性化を図る。	学力テストの、国語の観点別評価項目「書く能力」をすべての学年で、前年度以上に引き上げる 規律遵守の意識レベルを向上し、保護者、児童対象アンケート・しつけに関する3項目の平均を維持する 教員自己評価の次の4項目の評価を向上する ・ 社会的マナー・モラルの定着に努めている ・ 人権意識向上に努めている ・ 挨拶など礼儀を重んじる態度の定着に努めている ・ 時間を守るなど、規則を守る態度の定着に努めている	分かりやすい授業の実践に努めている…4.4 学習意欲向上に努めている…4.3 学力向上に努めている…4.3 学習の遅れている児童への支援を行っている…4.2 問題を抱えた児童や保護者への相談活動に努めている…4.2 きめ細かな進路相談に努めている…3.9 保護者との連携に努めている…4.2 読書指導に努めている…4.0 社会的マナー・モラルの定着に努めている…4.0 人権意識向上に努めている…4.0 挨拶など礼儀を重んじる態度の定着に努めている…4.2 時間を守るなど、規則を守る態度の定着に努めている…4.2 思いやりのある態度育成に努めている…4.2
3 主体的な生き方の尊重	児童の自主性・主体性がより発揮できるよう、児童委員会・係活動・縦割り活動、行事の内容を再検討する	① 児童委員会で「どのようにすればみんなが楽しい学校生活を過ごせるようになるか」を話し合わせ、子どもたち自身で今年度のスローガンをたてる。スローガンを軸に、子どもたちが自主的にあいさつ、相互扶助、ボランティアに取り組める下地を作る。 ② 行事と学習計画のつながりをより明確にし、児童自身が行事を通して自己の伸びを実感できるプログラムへの改善を図る。	保護者、児童アンケートの次の評価を向上する ・ 児童会活動や係り活動をがんばっている ・ 行事は楽しく充実している	主体性を重視した指導に努めている…4.1

<p style="text-align: center;">4 安心、安全な学校づくり</p>	<p>1. 児童の生命を守るために、対策をたて取り組む</p> <p>2. 児童の安全に対する意識を向上させるため、特別活動や道徳の時間を使って教育を行う。</p>	<p>① 一般防災に関する対策</p> <p>(a) 防災マニュアルに沿った避難訓練、マニュアルの検討を行う。</p> <p>(b) マニュアルが機能するよう、避難通路や防災用具を定期的に点検する。</p> <p>(c) 緊急集団下校マニュアルに添い、円滑な保護者への引き渡しを目的とした訓練を行う。</p> <p>(d) 緊急時の一斉配信システムを整備する。</p> <p>(e) 宿泊を伴う校外行事では、最初に避難経路を児童に知らせ、必要に応じて避難訓練を行う。</p> <p>② 不審者等の危機管理 不審者対策危機管理マニュアルにそって危機レベルごとの迅速な対応ができるよう、職員の訓練を行う。</p> <p>③ 外部組織と連携し、安全意識向上のための教育を行う（四條畷警察・安全教室、NTT安全モラル教室等）</p>	<p>教員自己評価の次の項目の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災や安全に関する指導に努めている ・ 衛生的で健康な生活の知識技能の指導に努めている 	<p>防災や安全に関する指導に努めている…4.0</p> <p>衛生的で健康な生活の知識技能の指導に努めている…3.7</p> <p>緊急時のマニュアル整備や登下校チェックや防災訓練など、安全対策を十分とっている…4.1</p>
<p style="text-align: center;">5 教育環境の充実</p>	<p>学校の美化全校で取り組む。</p>	<p>① 児童の持ちものの整理整頓、指導を定期的に行う。</p> <p>② 工事期間中（四條畷学園大学附属幼稚園新園舎建築）の校内安全に留意した特別校則を作り、児童の安全を確保する。</p>	<p>教員自己評価の次の項目の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物を大切にする心や、美化意識の向上に努めている <p>保護者、児童アンケートの次の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内の施設、設備は充実している 	<p>物を大切にする心や、美化意識の向上に努めている…4.0</p> <p>教育活動がしやすく、子どもにとっても好ましい環境が整っている…3.5</p> <p>自然環境保全の意識向上に努めている…3.7</p>